

【インフィールドフライ】

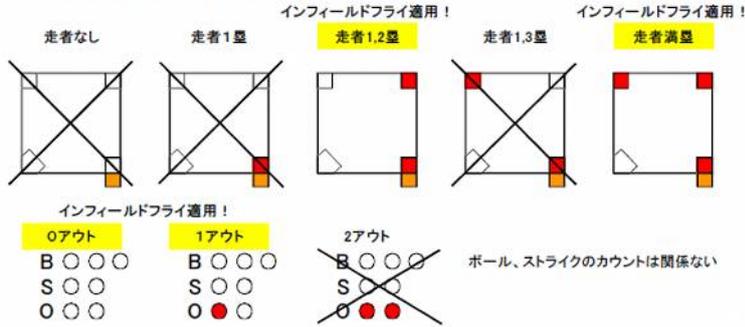
ルールブックを見てもわかりにくいこのルールについて解説します。

INFIELD FLY

無死または一死で、走者一・二塁もしくは満塁で、打者が内野に打ち上げた飛球で(ラインドライブ、バント飛球は除く)、野手が容易に守備できる飛球のことをいう。

【適用の条件】

0アウト、1アウト且つ、走者1、2塁、走者満塁



【ルール適用の理由】

フォースプレイによる守備側の優位性を攻撃側と公平にするため。

<解説>

外野フライと内野フライの違い

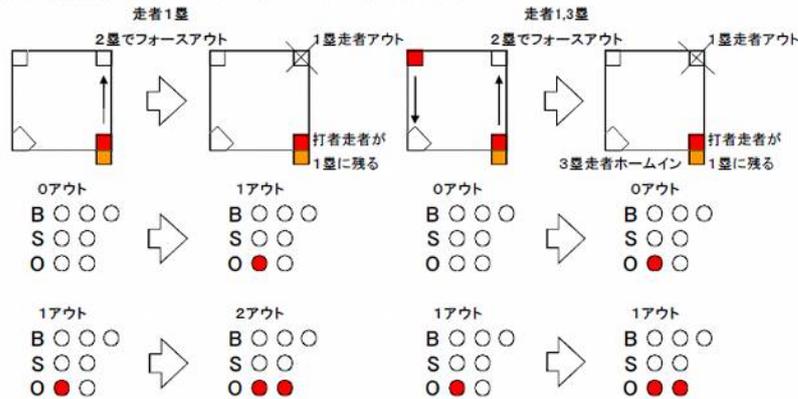
打球	守備側のプレー	次の塁へのプレー		プレーの状態
		打者走者	走者	
外野フライの場合	野手が捕球できた	アウト	タッチアップ	普通のプレーで問題なし 外野ゴロアウトもあり
	野手が捕球できなかった	フォースプレイ	フォースプレイ	走者は進塁を躊躇するが、 外野飛球なのでアウトにしやすい
	野手が故意に捕球しなかった	フォースプレイ	フォースプレイ	
内野フライの場合	野手が捕球できた	アウト	タッチアップ	普通のプレーで問題なし
	野手が捕球できなかった	フォースプレイ	フォースプレイ	走者は進塁を躊躇するため、アウトにしやすい
	野手が故意に捕球しなかった	フォースプレイ	フォースプレイ	

「タッチアップ」と「フォースプレイ」の条件は次のとおり。

- タッチアップ ... 打球がフライとなり野手が捕球した場合は、走者は帰塁しなければならない。
- フォースプレイ ... 塁が走者で埋まっている状態で、打球が地面に着いた場合、走者は野手の送球が次の塁に到達するより遅いとアウトになる。

「走者1塁」、「走者1, 3塁」はなぜ適用しないのか？

0アウト、1アウトで2塁フォースアウトが発生しても、併殺打とならぬ限り3アウトとならない。
守備側に圧倒的に有利にならないため、インフィールドフライの適用とされない。



「故意落球」を行った場合は？

CASE①	0アウト、1アウトで1塁に走者がいる場合(1塁、1、2塁、満塁)、ボールデッドとなり走者はアウトとならず、元の塁に戻す。 故意落球は守備側の不正によるフォースプレイを狙ったものであるため、発生時点でプレー停止である。
CASE②	0アウト、1アウトで1塁に走者がいない場合(2塁、3塁、2、3塁)、および2アウトではボールデッドとはならず、走者はタッチプレイ、打者走者は1塁でのフォースプレイとなる。

走者がアウトになるケース

CASE①	インフィールドフライが宣告された打球に、塁から離れた走者が触れたとき。	⇒	ボールデッド
CASE②	インフィールドフライが宣告された後、走者が守備妨害(インターフェアランス)を行った場合。	⇒	ボールデッド
CASE③	インフィールドフライが宣告された後、野手が捕球した打球を送球し、走者が帰塁できなかった場合。	⇒	インプレイ
CASE④	インフィールドフライが宣告された後、走者がタッチアップを試み、次の塁でタッチアウトとなった場合。	⇒	インプレイ

走者がアウトにならないケース

CASE①	インフィールドフライが宣告された打球に、塁についている走者が触れたとき。	⇒	ボールデッド
CASE②	インフィールドフライが宣告された後、野手が捕球した打球を送球し、走者が帰塁できた場合。	⇒	インプレイ
CASE③	インフィールドフライが宣告された後、走者がタッチアップを試み、次の塁でセーフとなった場合。	⇒	インプレイ
CASE④	インフィールドフライが宣告された後、打球がファウルになった場合。	⇒	ボールデッド

【飛球判断】

インフィールドフライはその名のとおりインフィールド(内野)フライ(飛球)に対する適用ですが、実際のプレーでは、内野なのか外野なのか判断が難しい場合もあります。「野手が容易に取れる」という条件に当てはまれば適用されますので、選手も審判も慎重な瞬時の判断が求められます。特に、風が強い場合など注意が必要になります。